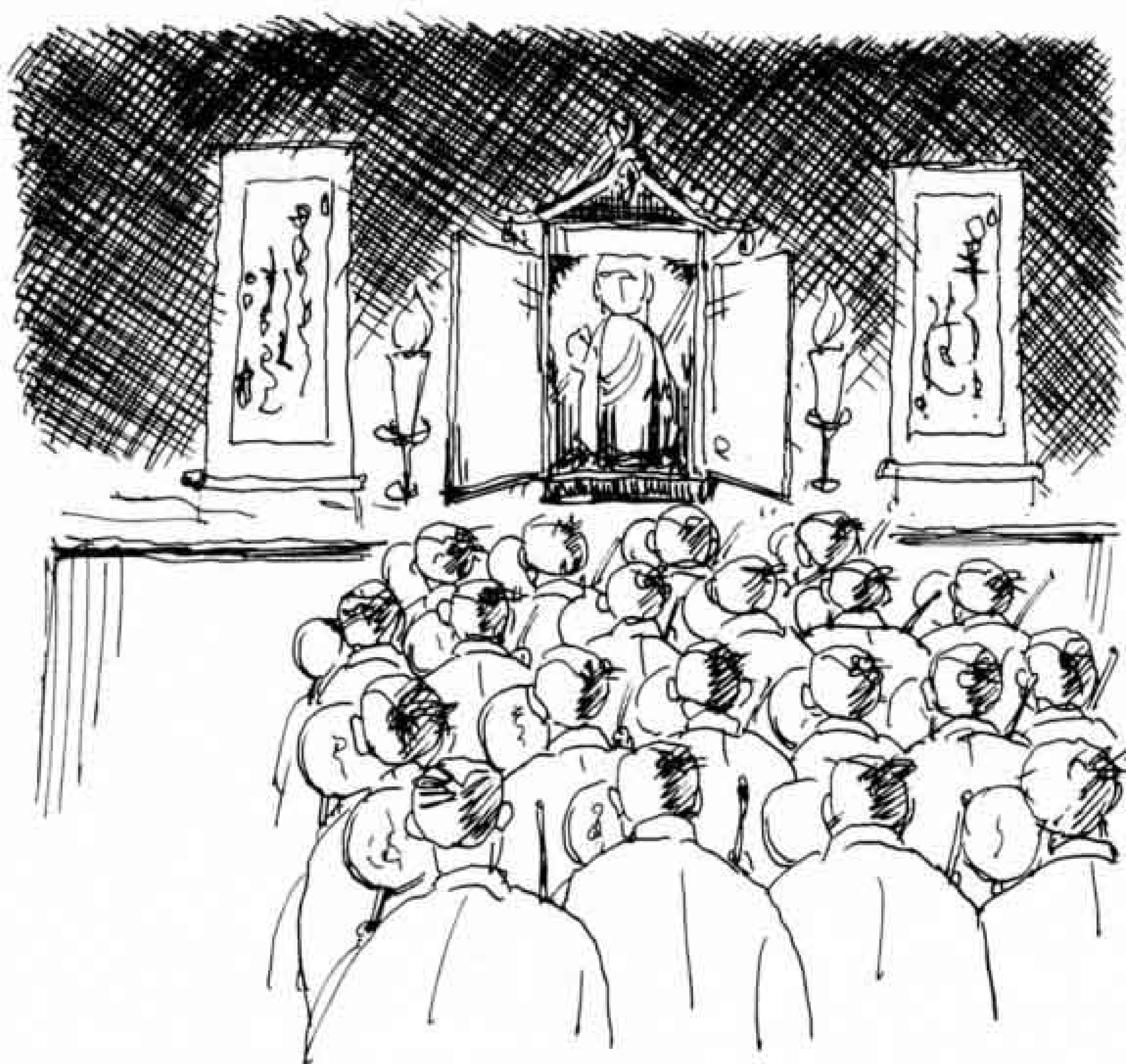


# ふるさとの昔話

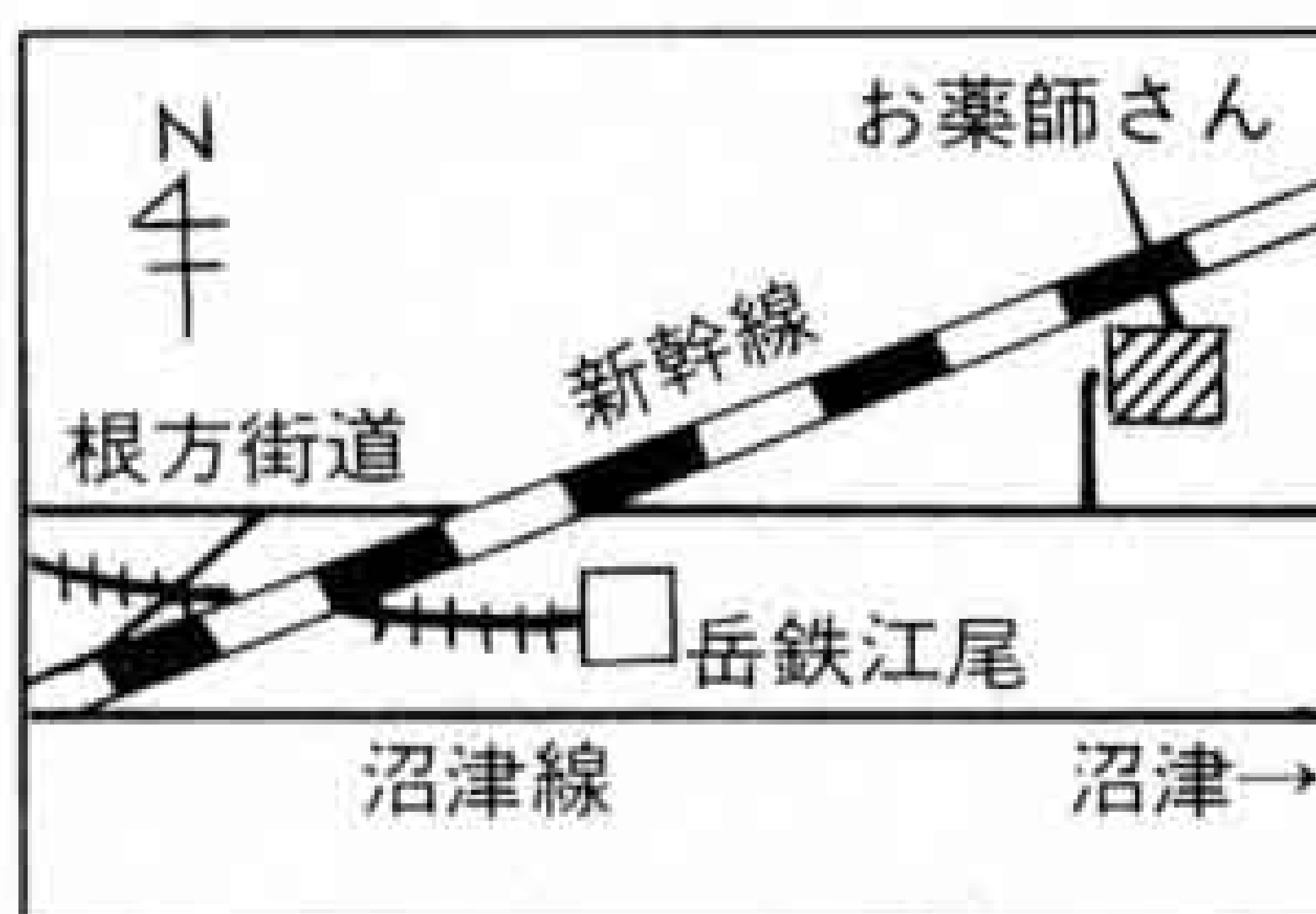
## 浮島町のお薬師さん

浮島町に「お薬師さん」とか「薬王さん」と呼ばれているお堂があります。ここには薬師如来が祭られており、地域の人々の信仰を集めています。今回は、浮島町一の高橋武次郎さん(七十四歳)にお話を伺いました。



### 落馬させるお薬師さん

昔々のことです。愛鷹山の山すそに延びる根方街道は、東西を結ぶ重要な道でした。お薬師さんは浮島の根方街道から、ちよつと北へ入ったところにある、その昔は中尾山薬王寺という真言宗のお寺だったといわれます。御本尊の薬師如来の靈験はあらたかで、参道前の根方街道を馬に乗って通ると、必ず落馬するといわれました。実際に落馬する人が相次いだためでしょう。



▷お薬師さん



▷高橋さん

か、いつしか仏像の背を街道に向けて、安置するようになり、今もそのまま置かれています。また、参道東側には清水がこんこんと湧き出ている池があります。この池の水を目に当てると目の病気に効くといわれ、多くの人が訪れたものでした。

### 病人の回復を祈る

あるとき、浮島の人々が病に倒れました。部落のみんなはお薬師さんに集まり、ろうそくを上げ、太鼓をたたいて回復を祈りました。

「おんころころ せんだりまとうぎようそわか」とお経をろうそくの消えるまで何回も唱えました。長老は、ろうそくのとぼれる状態によって病状を占い、人々は、また熱心に唱えました。高橋さんの子供のころまで、このお祈りは続けられました。今は知る人も少なくなりました。

### 十六年に一度御開帳

現在の様子を高橋さんは「四月十六日に祭りが行われていました。御本尊は高さが五十センチくらいで、梅の一本づくりです。破損が進んでいますが、厨子に納められ、十六年に一度御開帳されます。お経は今でも言えますよ」と話してくれました。

### あなたの生活便利メモ

#### 御利用 テレホンサービス ください

電話一本でさまざまな情報が入る時代。市も幾つかのテレホンサービスを行っていますので、今回はその紹介をします。

平日夜間と休日当直医は救急医療情報を。いざというときに役に立ちます。

#### テレホンサービス

| サービス名    | 電話      |
|----------|---------|
| 市政案内     | 52-1111 |
| 民話テレホン   | 53-1111 |
| 火災情報     | 52-1181 |
| 救急医療情報   | 51-9999 |
| 公設卸売市場市況 | 53-2323 |
| 青少年相談ふじ  | 51-3741 |

#### こちら編集室

今、中国浙江省嘉興市に続いて、米国カリフォルニア州オーシャンサイド市との国際友好都市提携の話が進んでいます。今月、市議会の調査団が出発しますが、わが編集室から

も米国人と身長においては見劣りしないW氏が同行します。ところが、氏は大の飛行機嫌い。「船で行くわけにはいかないし」と思案顔。成果は後日広報で紹介します。こう御期待。



#### 遊々タイム

.....◎

#### 【つばぐし】

数学と美術とおだんごの好きな、須津中学校1年生の坂上実保子さん。実保子さんの考えた「つばぐし」が、ことしの富士市発明くふう展で、市長賞に選ばれました。

「つばぐし」の発想は、とてもユニーク。くしだんごを食べるとき、たれやあんこで口の回りを汚さずに、しかも、上品に食べるのできるくしです。

市販のくしに、新しい竹をろうそくであぶって曲げた、ちょうど刀のつばのようなものを取りつけてあります。これを、押し上げながら食べます。小さなくしに、楽しさを発見する遊びの時間。こんな時間の使い方って、すてきだと思いませんか。